

2015-B					
拠出金・基金の 名称		UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」支援			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国際連合環境計画					
【所管官庁担当局課・室名】環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>持続可能な社会と資源管理のあり方を世界レベルで科学的に検討する場として、国際的に重要な位置づけとなっている国連環境計画「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP国際資源パネル)の事業活動へ参加することにより、世界各地の横断的な課題解決に寄与する。</p> <p>資源分野における世界の著名な科学者及び専門家による独立した当パネルでは、天然資源の利用によるライフサイクルにわたる環境影響に関する独立した科学的評価を行うとともに、これらの影響を低減する方法に関する理解の増進のための活動を行っている。このパネルの活動を支持し日本の課題を含め世界規模での課題解決に向けた検討を進めるため、同パネルに対して、参加国として応分の拠出を行う。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	18,700			円建て	100
平成26年度	16,490			円建て	100
平成25年度	13,940			円建て	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>UNEP国際資源パネルに対して平成20年度より資金拠出を行うことにより、多岐にわたるパネルの活動の着実な進展に貢献している。特に、我が国からパネルメンバーとして参加している有識者はパネルの主要テーマの一つである「物質フロー分析」の知見の取りまとめにおいて中心的な役割を果たしている。物質フロー分析の取組において、我が国の循環型社会形成推進基本計画の内容を国際的な議論に反映させるよう努めているところである。</p> <p>平成27年には「温室効果ガス緩和技術(供給側)」「同(需要側)」「資源の国際取引:生物物理学的評価」「水利用効率」「食料システムと自然資源利用」の報告書が公表され、今後も毎年複数の世界経済の持続的発展に資する報告書の公表が予定されているなど、パネルの活動が着実に進捗しているところである。</p>					